

長岡京市第2期教育振興基本計画策定のための アンケート調査 集計結果 報告書 (概要版)

調査の概要

1. 調査の目的

「長岡京市教育振興基本計画」が令和2年度に目標年度を迎えることから、令和3年度からの10年間を計画期間とする第2期計画の策定に向けて、教育や生涯学習についての現状や課題を把握するため本アンケート調査を実施しました。

2. 調査の方法等

アンケート調査の種別、対象者、配布数、調査方法、調査期間及び回収率は以下の通りです。

アンケート種別	対象者	対象者数	調査方法	調査期間	回収数 (回収率)
小学生アンケート	長岡京市立小学校に通う小学5年生	776	学校を通じて配布回収	令和2年1月14日 ～1月31日	762 (98.2%)
中学生アンケート	長岡京市立中学校に通う中学2年生	711			673 (94.7%)
保護者アンケート	上記児童・生徒の保護者	1,487		令和2年1月24日 ～2月3日	1,173 (78.9%)
市民アンケート	18歳以上の市民 (住民基本台帳から無作為抽出)	1,000	郵送による 配布回収	令和2年1月14日 ～1月31日	455 (45.5%)
学校長アンケート	長岡京市立小中学校の学校長	14	Eメールで 配布回収	令和2年2月5日 ～2月17日	14 (100%)
教務主任アンケート	長岡京市立小中学校の教務主任	14	Eメールで 配布回収	令和2年3月6日 ～3月23日	14 (100%)

※小学生アンケートと中学生アンケートは基本的に同じ設問内容

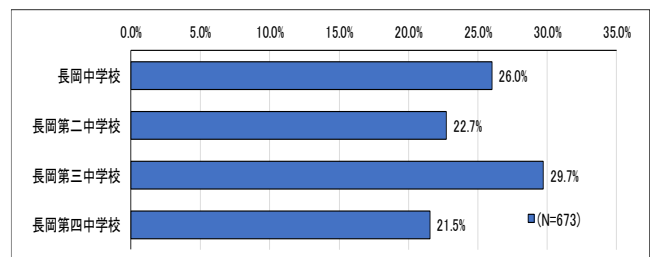
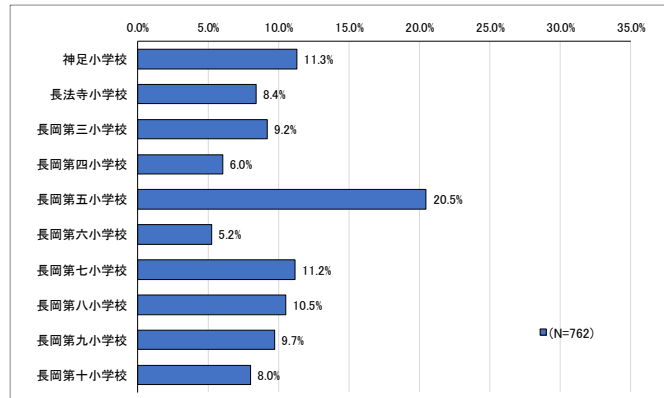
3. 報告書の見方

- (1) 図中のN (Number of case)は設問に対する回答者数のことです。
- (2) 数表の集計区分ごとの集計母数は単数回答では「合計」、複数回答では「有効回答数」となっています。
- (3) 回答比率 (%)は回答者数を100%として算出し、小数点以下第2位を四捨五入して表示しました。四捨五入の結果、内訳の合計が計に一致しないことがあります。また、一人の対象者に複数の回答を求める設問では、回答比率 (%)の計は100.0%を超えます。
- (4) 市民アンケート、保護者アンケートの自由記述及び教職員アンケート (学校長、教務主任)については、概要版における結果の掲載を割愛します。

回答者の属性（小学生・中学生）

（1）校 区

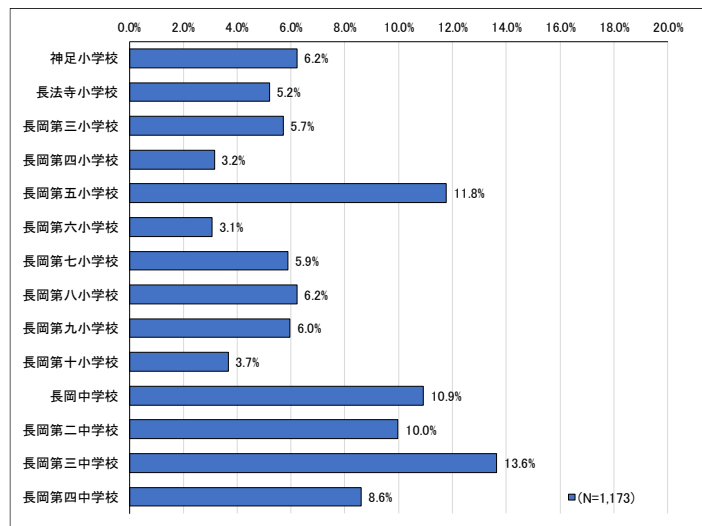
回答割合は、小学校が「長岡第五小学校」で 20.5%、中学校が「長岡第三中学校」で 29.7%と最も高くなっています。



回答者の属性（保護者）

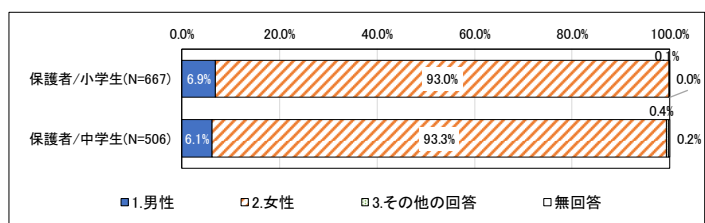
（1）校 区

回答割合は、小学校は「長岡第五小学校」が 11.8%、中学校は「長岡第三中学校」が 13.6%で最も高くなっています。



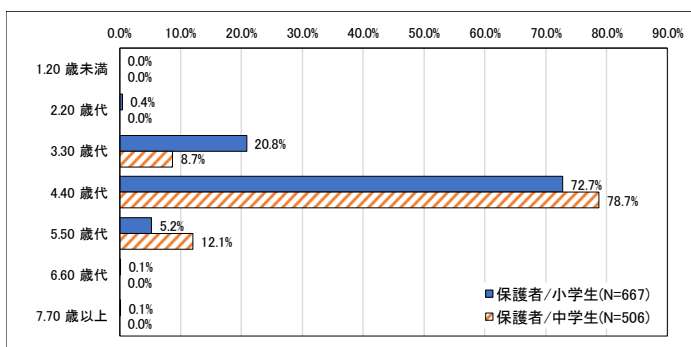
（2）性 別

小学生の保護者、中学生の保護者ともに女性の保護者による回答が 9 割を占めています。



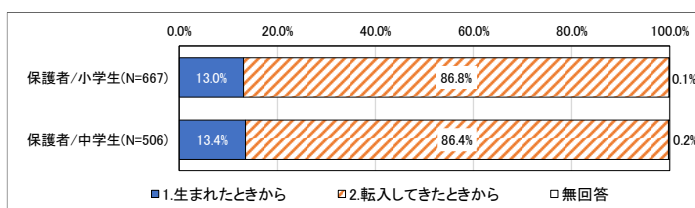
(3) 年 齢

小学生の保護者、中学生の保護者ともに40歳代の保護者による回答が7割を占めています。



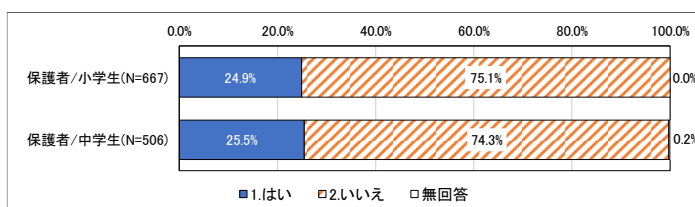
(4) 居住開始時期

長岡京市に「2. 転入してきたときから」住んでいる保護者が小学生、中学生ともに8割を占めています。



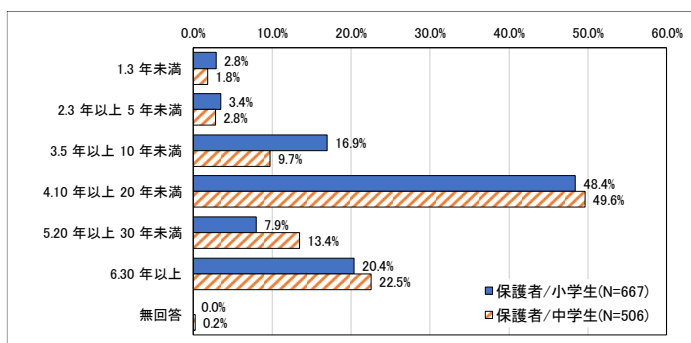
(5) 長岡京市立の小中学校の在籍経験

小学生の保護者、中学生の保護者ともに「2. いいえ」が7割を占めています。



(6) 居住期間

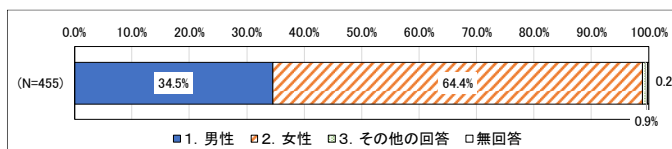
小学生の保護者、中学生の保護者ともに「4. 10年以上20年未満」が5割近くを占めています。



回答者の属性（市民）

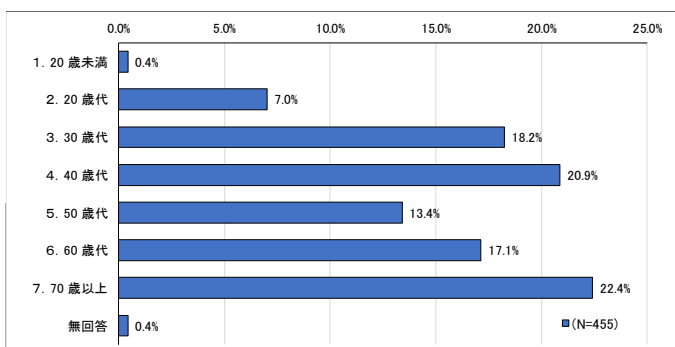
(1) 性 別

回答者は「2. 女性」の割合が6割を占めています。



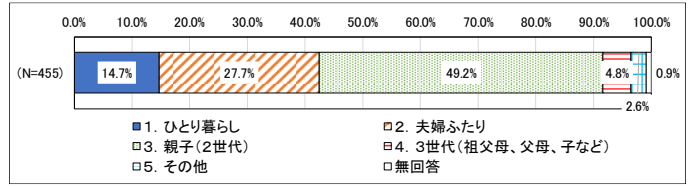
(2) 年 齢

「7. 70歳以上」「4. 40歳代」「3. 30歳代」がそれぞれ22.4%、20.9%、18.2%となっています。

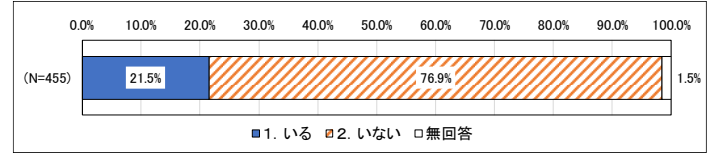


(3) 家族構成

「3. 親子2世代」が49.2%で最も高く、次いで「2. 夫婦ふたり」「1. ひとり暮らし」となっています。

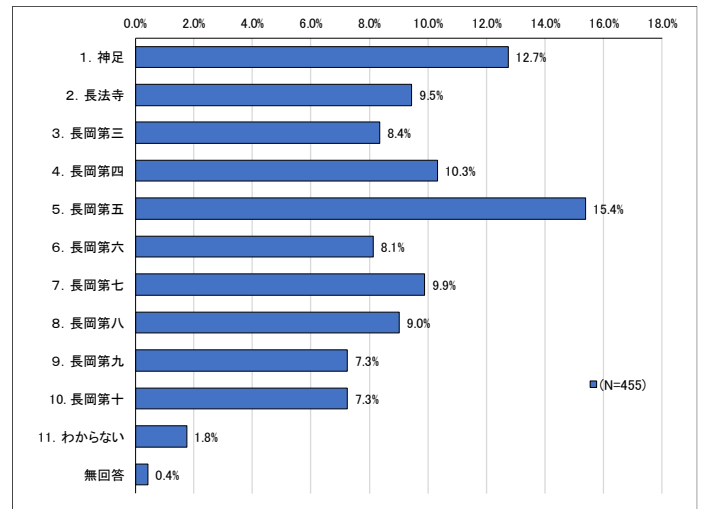


小学校の児童または中学校の生徒の有無については、「2. いない」が76.9%となっています。



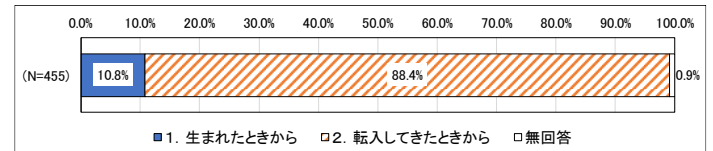
(4) 校 区

「5. 長岡第五」が15.4%で最も高く、次いで「1. 神足」「4. 長岡第四」となっています。



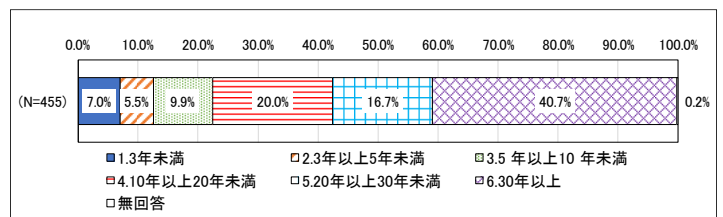
(5) 居住開始時期

「2. 転入してきたときから」が88.4%と高い割合を占めています。



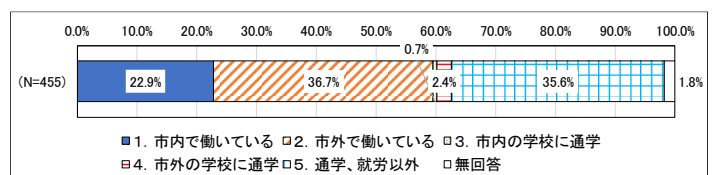
(6) 居住期間

「6. 30年以上」が40.7%で最も高く、次いで「4. 10年以上20年未満」「5. 20年以上30年未満」となっています。



(7) 通勤・通学場所

「2. 市外で働いている」が36.7%となっており、通勤・通学をされていない「5. 通学、就労以外(家事専業、無職、その他)」が35.6%でほぼ同じ割合となっています。



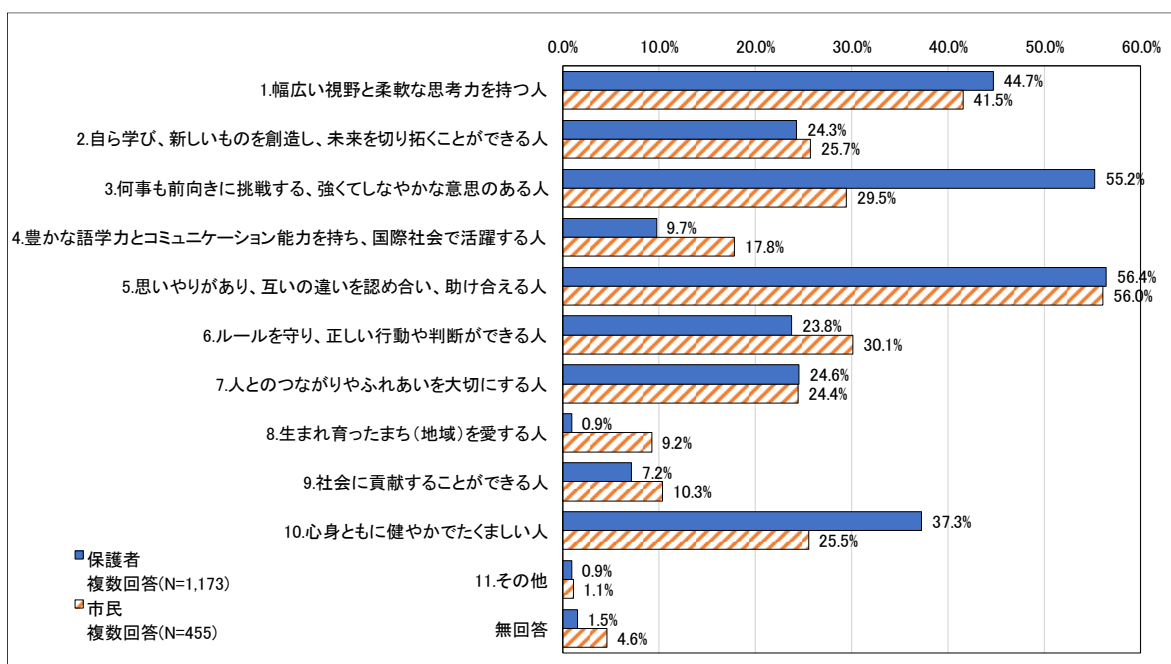
調査結果

1. これからの長岡京市の教育について

将来子ども達になってほしい人間像は、主に協調性、意欲、思考力を備えたものの割合が高い。また、SNS、スマートフォン普及が子どもに及ぼす影響についての問題意識がある。

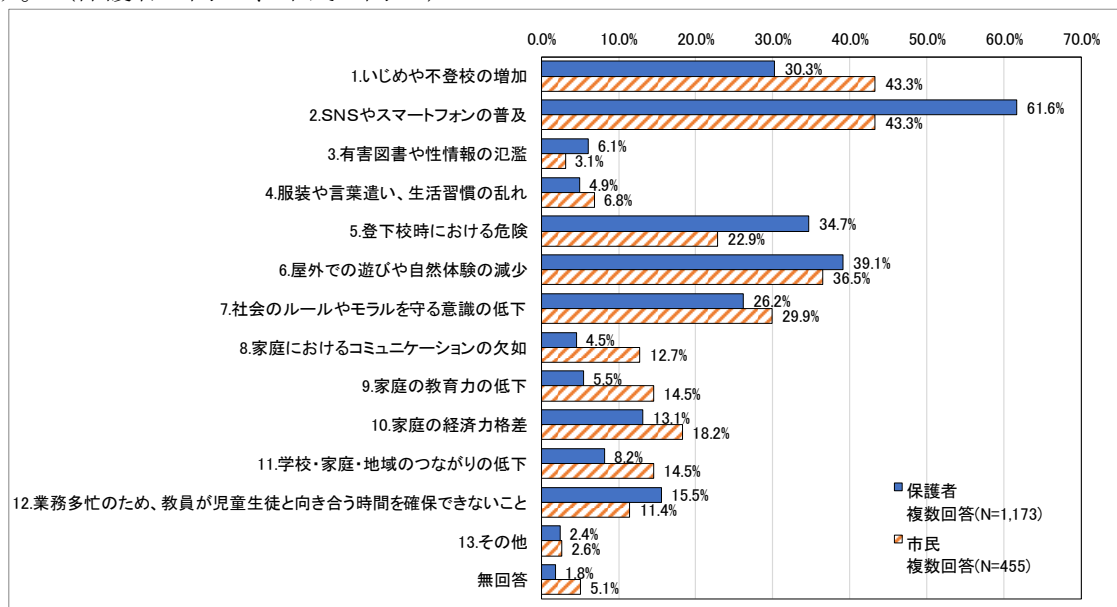
(1) 将来子ども達になってほしい人間像

保護者、市民ともに「5. 思いやりがあり、互いの違いを認め合い、助け合える人」の割合が最も高く、保護者では、「3. 何事も前向きに挑戦する、強くてしなやかな意思のある人」の割合も同程度に高くなっています。これらに次いで「1. 幅広い視野と柔軟な思考力を持つ人」の割合が高くなっています。（保護者：問 31、市民：問 31）



(2) 子ども達が成長していく上で特に問題と感じていること

保護者の「2. SNSやスマートフォンの普及」の割合が特に高くなっていますが、市民では、「1. いじめや不登校の増加」「2. SNSやスマートフォンの普及」の割合が同程度で高くなっています。（保護者：問 32、市民：問 32）

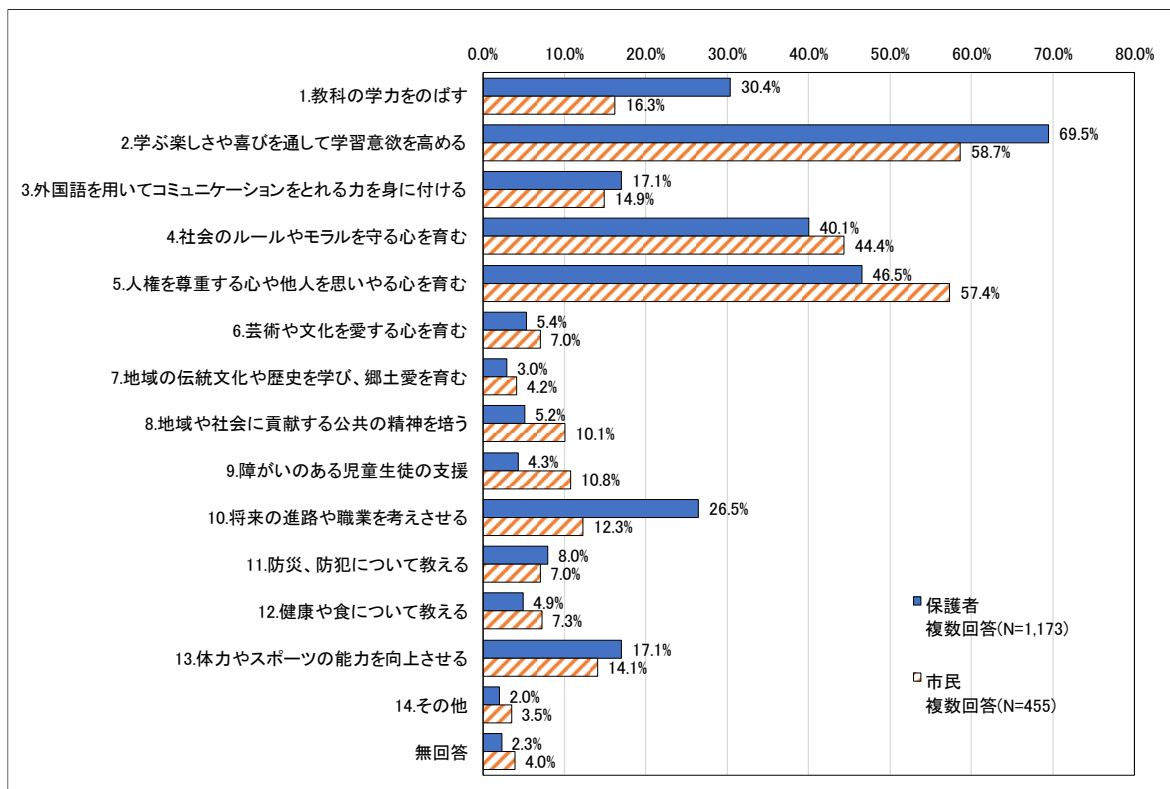


2. 学校、家庭、地域の役割について

学校に期待する教育や指導は「学ぶ楽しさや喜びを通して学習意欲を高めること」、家庭において身に付けてほしいことは「他人を思いやる心」、地域で取り組むべきことは「子どもが安心安全に過ごせるように見守る」の割合が最も高い。

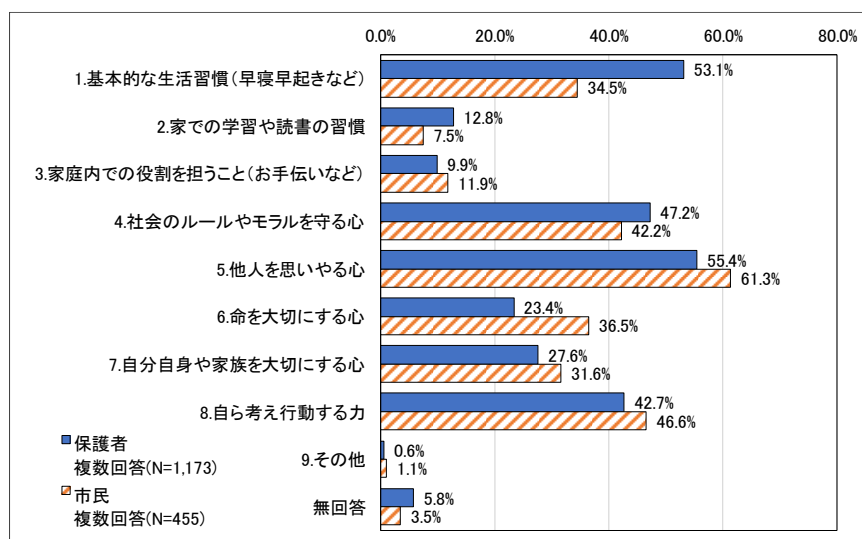
(1) 学校に期待する教育や指導

保護者、市民ともに「2. 学ぶ楽しさや喜びを通して学習意欲を高める」の割合が最も高く、次いで「5. 人権を尊重する心や他人を思いやる心を育む」「4. 社会のルールやモラルを守る心を育む」などとなっています。（保護者：問 25、市民：問 34）



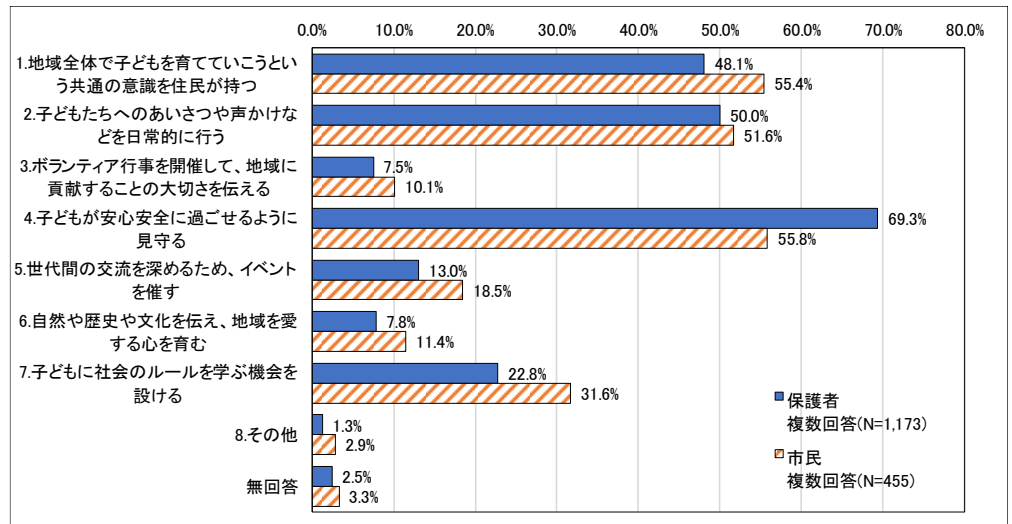
(2) 家庭で身に付けてほしいこと

保護者、市民ともに「5. 他人を思いやる心」の割合が最も高くなっています。保護者ではこれに次いで、「1. 基本的な生活習慣（早寝早起きなど）」ですが、市民では「8. 自ら考え行動する力」など、両者に差異がみられます。（保護者：問 22、市民：問 33）



(3) 地域で取り組むべきこと

保護者、市民ではともに「4. 子どもが安心安全に過ごせるように見守る」の割合が高くなっていますが、その割合は保護者で特に高くなっています。(保護者：問 37、市民：問 37)



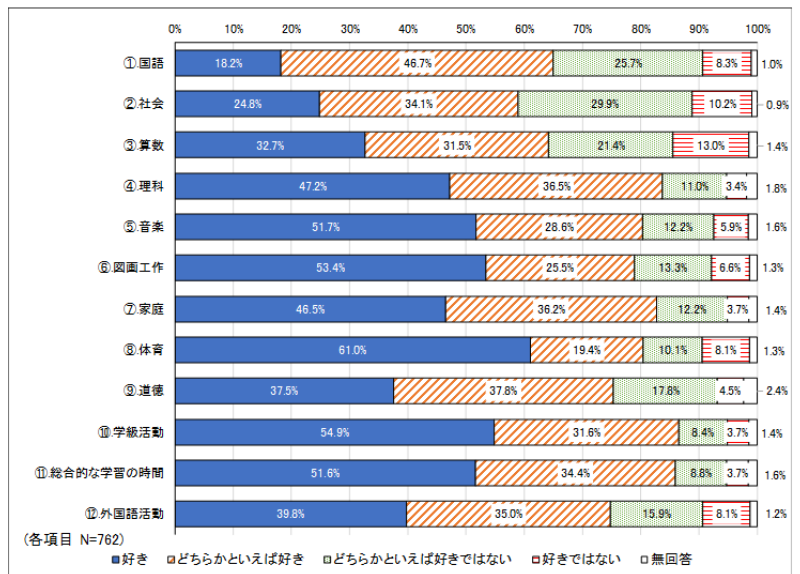
3. 子ども達の学びと生活の状況について

教科や活動が好きかどうか、授業以外の学習時間は、授業の理解度との相関関係がみられる。規範やルールなどを守る意識は高いものの、自ら積極的に行動する子どもは少ない現状である。

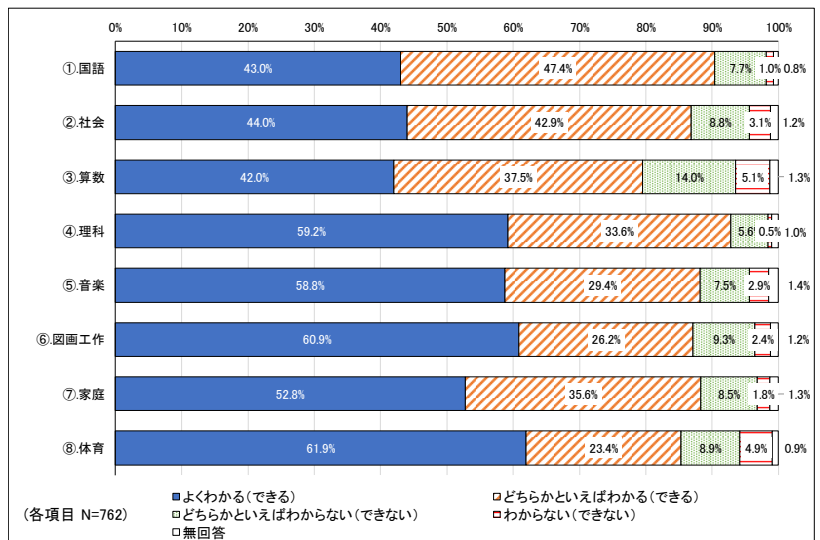
(1) 授業の理解度との相関関係 (教科や活動が好きかどうか)

教科や活動が好きかどうかと授業の理解度との相関がみられています(小学生：問 4×問 5、中学生：問 4×問 5)。

次の教科の勉強や活動は好きか【小学生】



授業の理解度【小学生】



(2) 授業の理解度との相関関係 (授業以外の学習時間)

授業以外の学習時間と授業の理解度の相関もみられ、特に学習時間が30分未満の児童・生徒では授業の理解度が大きく下がる傾向（小学生：問23×問5、中学生：問23×問5）になっています。右図の国語以外の教科と活動についても、概ね同様の傾向が見られます。

	よくわかる（できる） (on)	どちらかといえばわかる（できる）	どちらかといえばわからない（できない）	わからない（できない）	無回答
全体	28.1	46.7	16.6	6.1	2.5
3時間以上	43.4	37.7	9.4	9.4	0.0
2時間以上3時間より少ない	28.7	50.7	15.4	2.9	2.2
1時間以上2時間より少ない	28.1	46.4	16.7	5.7	3.1
30分以上1時間より少ない	26.7	54.2	15.0	3.3	0.8
30分より少ない	27.1	44.7	21.2	3.5	3.5
全くしない	19.5	39.0	20.8	15.6	5.2

(注)小学生についても概ね同様の傾向が見られます。

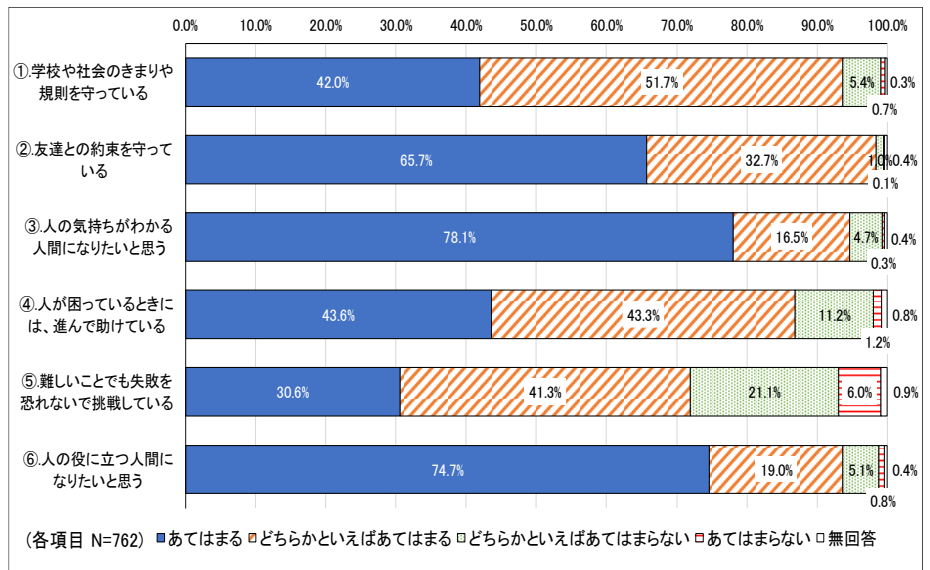
(3) 行動規範や道徳意識

「②友達との約束を守っている」「③人の気持ちがわかる人間になりたいと思う」「⑥人の役に立つ人間になりたいと思う」では小学生、中学生とも「あてはまる」の割合が高くなっています。

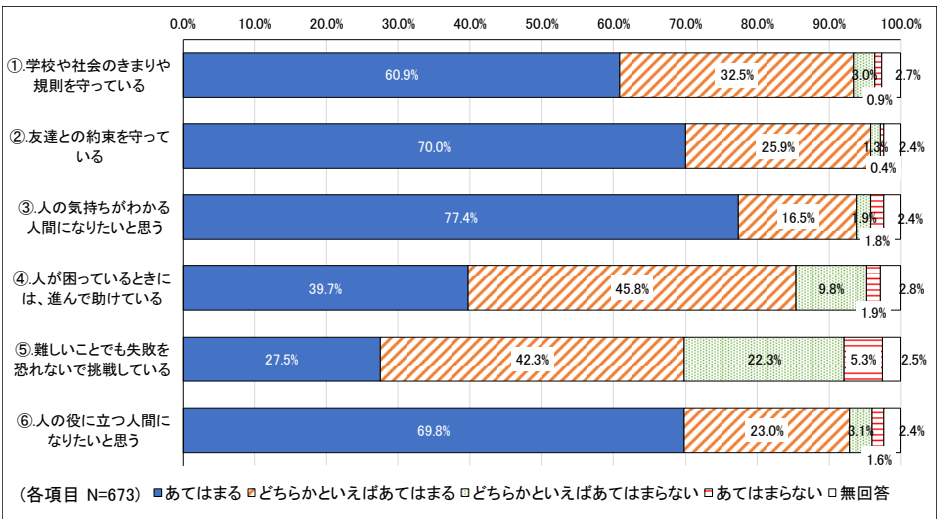
これらに比べて、「⑤難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している」「④人が困っているときに進んで助けている」の「あてはまる」の割合は低くなっています。

「①学校や社会のきまりや規則を守っている」については、中学生では比較的高い割合を示しているものの小学生では低くなっています。（小学生：問11、中学生：問11）

【小学生】

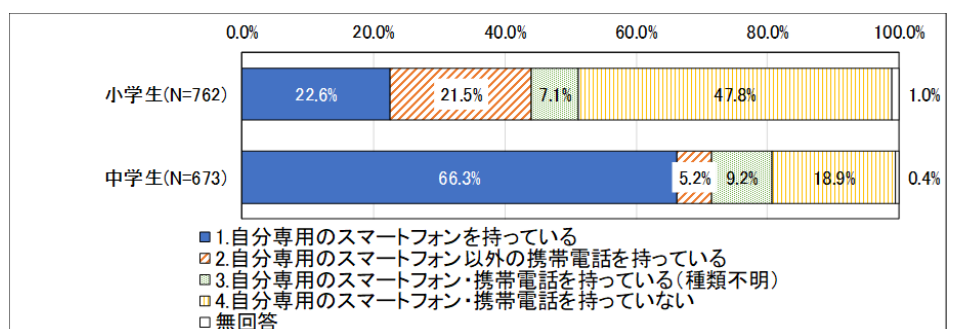


【中学生】



(4) 自分専用の携帯電話やスマートフォンの所持率

小学生では約50%、中学生では約80%となっています。（小学生：問35、中学生：問34）

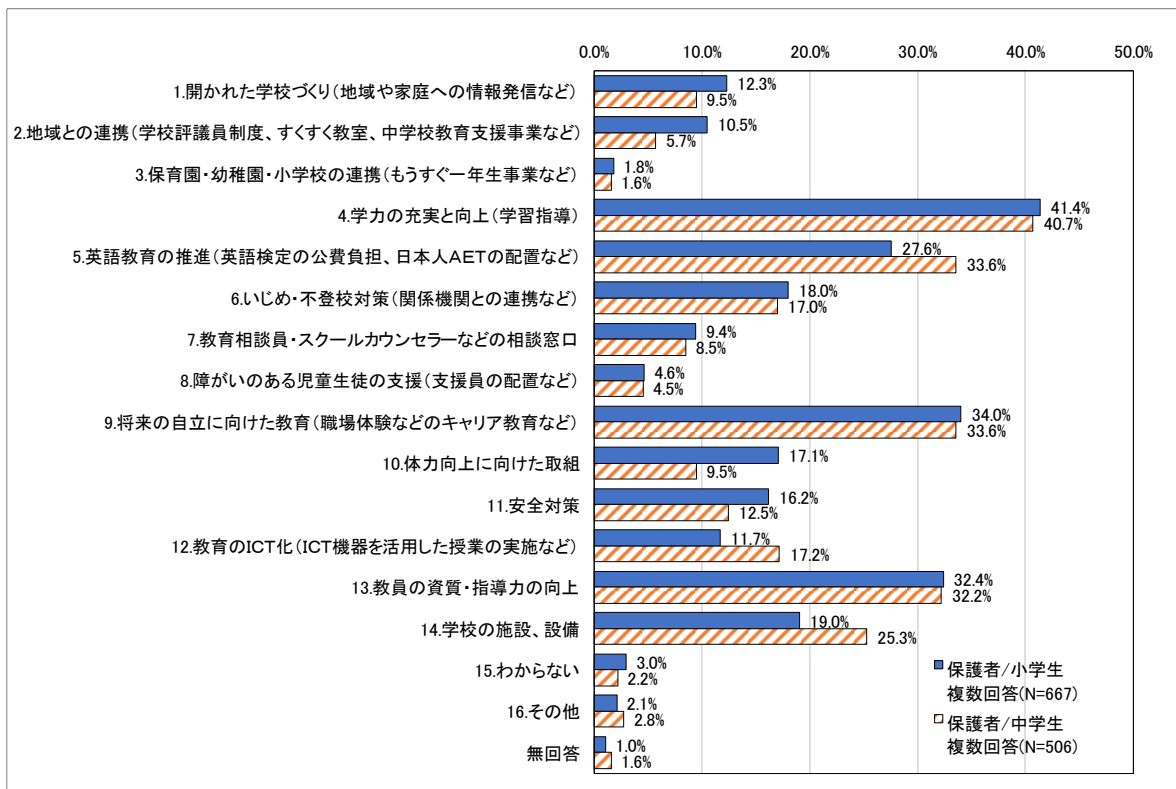


4. 学校教育に関する取り組みについて

学校教育に関する取り組みで長岡京市にもっと充実して欲しいものでは、「学力の充実と向上」「将来の自立に向けた教育」などの割合が高くなっている。

(1) 学校教育に関する取り組みで長岡京市にもっと充実して欲しいもの

「4. 学力の充実と向上（学習指導）」「9. 将来の自立に向けた教育（職場体験などのキャリア教育など）」「13. 教員の資質・指導力の向上」などの割合が高くなっています。中学生の保護者では、「5. 英語教育の推進（英語検定の公費負担、日本人AETの配置など）」の割合も高くなっています。（保護者：問28）



5. 地域における子どもの学び

地域とのつながりは、自己肯定感、自己肯定感と意欲や夢にも関係があり、地域との関わりは教育の面からも重要である。

(1) 地域での育ちと自己肯定感の相関関係

地域の大人が見守ってくれていることへの感じ方別に自己肯定感（自分にはよいところがあると思うかどうか）をみると、小学生、中学生ともに感じる人で「あると思う」の割合が高くなっています。（小学生：問 31×問 36、中学生：問 30×問 35）

このことから、地域の大人が見守ってくれていると感じる小・中学生は、感じない小・中学生よりも自己肯定感が高いという傾向が分かります。

自己肯定感（地域の大人が見守ってくれていることへの感じ方別）【小学生】

単位：%

	あると思う	どちらかといえば、あると思う	どちらかといえば、あると思わない	あると思わない	無回答
全 体	38.8	41.1	10.9	7.9	1.3
感じる	49.1	39.5	5.6	4.0	1.9
感じない	29.4	21.6	17.6	29.4	2.0
わからない	27.3	47.1	15.9	9.4	0.3

自己肯定感（地域の大人が見守ってくれていることへの感じ方別）【中学生】

単位：%

	あると思う	どちらかといえば、あると思う	どちらかといえば、あると思わない	あると思わない	無回答
全 体	32.7	39.8	15.2	11.4	0.9
感じる	44.8	39.0	11.2	4.2	0.8
感じない	39.1	26.6	20.3	14.1	0.0
わからない	22.7	42.5	17.2	16.4	1.1

(2) 子どもの自己肯定感と将来の夢との相関関係

自己肯定感（自分にはよいところがあると思うかどうか）別に将来の夢や目標の有無をみると、小学生、中学生ともにあると思う人で「もっている」の割合が高くなっています。（小学生：問 36×問 37、中学生：問 35×問 36）

このことから、自己肯定感が高い子どもほど「将来の夢や目標」がある子どもの割合が高いという傾向が分かります。

将来の夢や目標の有無（自己肯定感別）【小学生】

単位：%

	もっている	どちらかといえば、もっている	どちらかといえば、もっていない	もっていない	無回答
全 体	59.7	21.1	10.0	8.3	0.9
あると思う	76.0	13.5	7.1	3.4	0.0
どちらかといえば、あると思う	52.7	24.6	12.8	9.9	0.0
どちらかといえば、あると思わない	37.3	34.9	15.7	12.0	0.0
あると思わない	55.0	21.7	3.3	20.0	0.0

将来の夢や目標の有無（自己肯定感別）【中学生】

単位：%

	もっている	どちらかといえば、もっている	どちらかといえば、もっていない	もっていない	無回答
全 体	35.2	28.5	16.8	18.9	0.6
あると思う	55.5	25.0	10.0	9.5	0.0
どちらかといえば、あると思う	29.1	34.3	22.0	14.6	0.0
どちらかといえば、あると思わない	17.6	30.4	24.5	27.5	0.0
あると思わない	23.4	16.9	9.1	50.6	0.0

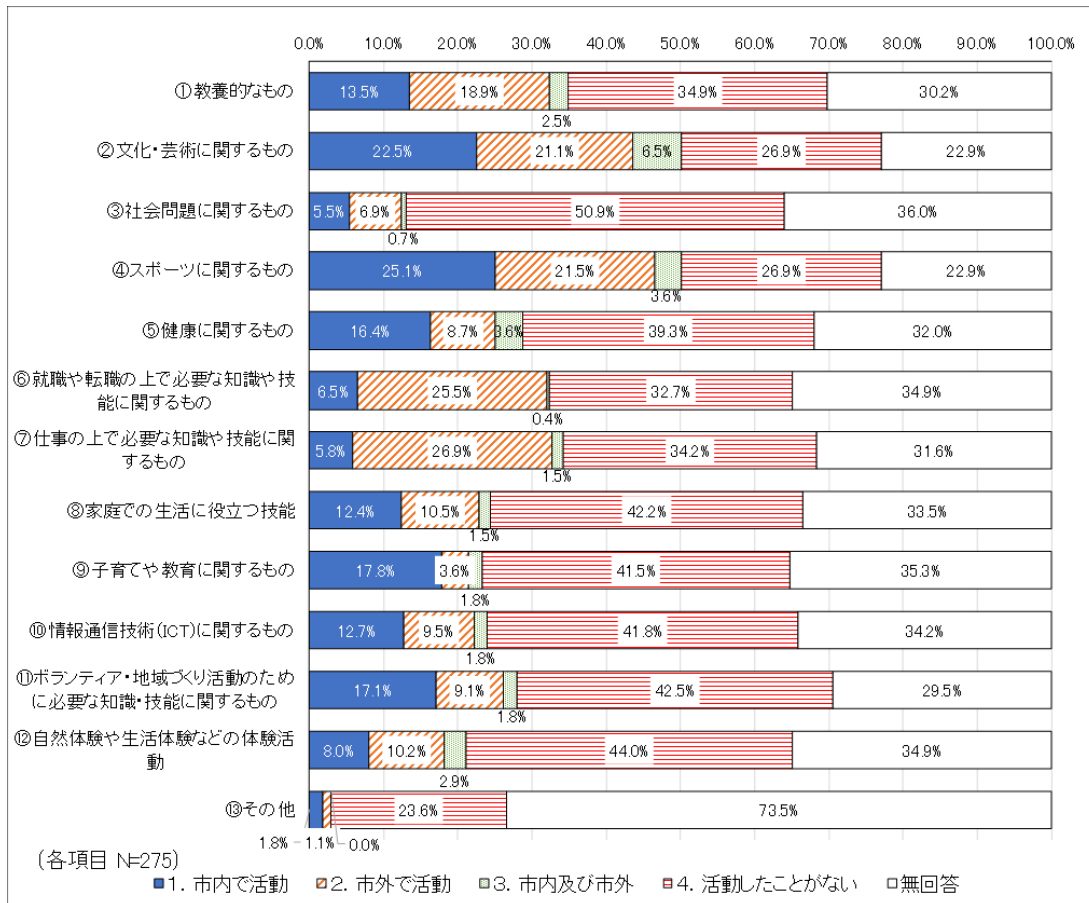
6. 生涯学習の充実について

市民全体で教養や健康増進の生涯学習のニーズは高いが、特に50歳代未満ではボランティア・地域づくり活動のための生涯学習活動経験者数は少ない。

時代の流れに対応し、各世代のニーズに対応した生涯学習が求められている。

(1) 学習活動の経験

自主的な学習活動の経験をみると、市民全体の傾向としては「②文化・芸術に関するもの」「④スポーツに関するもの」の割合が高くなっています。



ボランティア・地域づくり活動のために必要な知識・技能に関するもの（環境、福祉、防災など）

単位：%

年代別にみると50歳代未満では「ボランティア・地域づくり活動のために必要な知識・技能に関するもの（環境、福祉、防災など）」が低くなっています。（市民：問2×問12）

	市内で活動	市外で活動	市内及び市外	活動したことがない	無回答
全体	17.1	9.1	1.8	42.5	29.5
20歳未満	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
20歳代	6.7	13.3	0.0	80.0	0.0
30歳代	7.1	7.1	0.0	62.5	23.2
40歳代	14.3	10.7	0.0	50.0	25.0
50歳代	19.4	13.9	2.8	27.8	36.1
60歳代	13.6	13.6	2.3	31.8	38.6
70歳以上	32.3	1.5	3.1	26.2	36.9

(2) 今後やってみたい学習活動

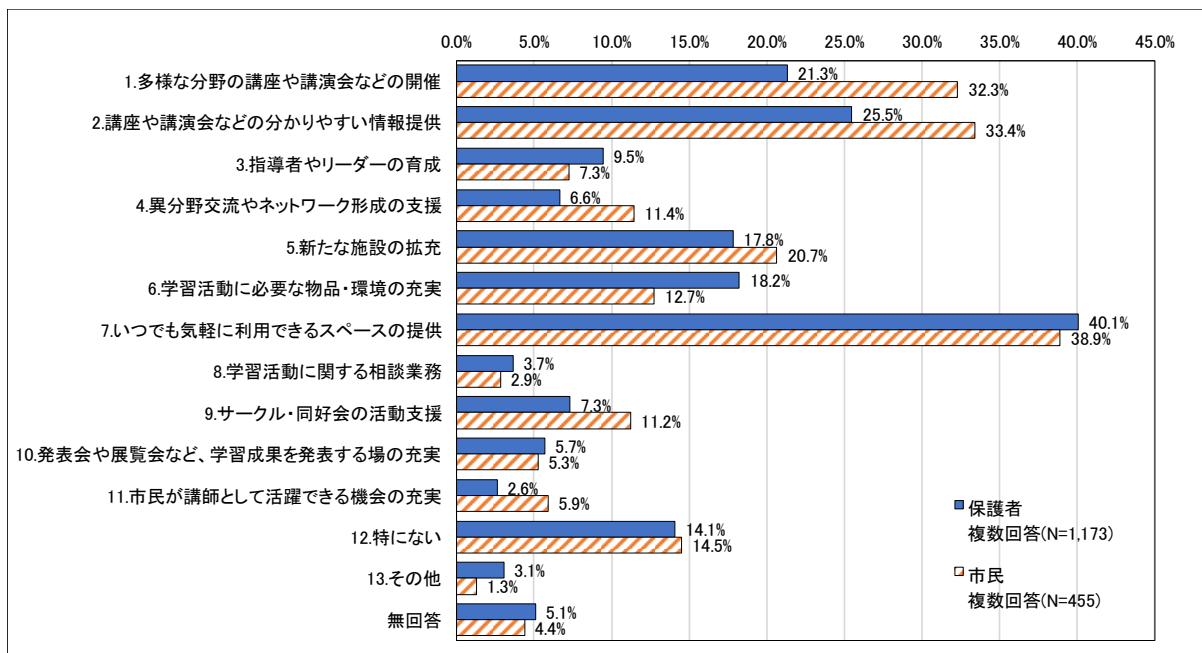
今後やってみたい学習活動では、文化・芸術、教養や健康増進のニーズは全体的に高い割合となっていますが、世代により、様々なニーズがあることが分かります。

また、50歳代以下では、学習活動の経験の設問同様、「ボランティア・地域づくり活動のために必要な知識・技能に関するもの（環境、福祉、防災など）」の割合が低くなっています。（市民：問2×問16）

	教養的なもの（文学、歴史、科学、語学など）	文化・芸術に関するもの（音楽、美術、茶道、華道、舞踊、書道など）	社会問題に関するもの（社会・時事、国際、環境など）	スポーツに関するもの（野球、サッカー、バスケットボール、テニスなど）	健康に関するもの（健康法、食事・栄養など）	就職や転職の上で必要な知識や技能に関するもの（資格取得など）	仕事の上で必要な知識や技能に関するもの（資格取得など）	家庭での生活に役立つ技能（料理、日曜大工など）	子育てや教育に関するもの	情報通信技術（ICT）に関するもの（スマートフォン・パソコンやインターネットなど）	ボランティア・地域づくり活動のために必要な知識・技能に関するもの（環境、福祉、防災など）	自然体験や生活体験などの体験活動	特になし	その他
全体	26.8	35.6	6.2	19.9	23.2	11.0	12.4	19.9	8.1	13.4	8.9	9.1	15.8	0.7
20歳未満	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20歳代	28.1	18.8	0.0	31.3	12.5	31.3	25.0	21.9	9.4	9.4	3.1	6.3	15.6	0.0
30歳代	18.3	33.8	2.8	29.6	19.7	15.5	21.1	33.8	25.4	9.9	4.2	16.9	11.3	0.0
40歳代	30.0	35.6	2.2	22.2	17.8	20.0	21.1	18.9	12.2	6.7	5.6	8.9	10.0	0.0
50歳代	33.3	50.0	5.0	25.0	25.0	6.7	10.0	16.7	0.0	13.3	8.3	11.7	10.0	0.0
60歳代	29.0	43.5	13.0	17.4	20.3	1.4	2.9	14.5	1.4	18.8	11.6	4.3	18.8	2.9
70歳以上	23.9	27.2	9.8	4.3	35.9	1.1	2.2	16.3	1.1	19.6	15.2	6.5	27.2	1.1

(3) 今後の生涯学習施策に求めること

長岡京市が学習活動に力を入れて取り組むべきだと思うことでは、保護者、市民ともに「いつでも気軽に利用できるスペースの提供」「講座や講演会などの分かりやすい情報提供」の割合が最も高く（市民：問18、保護者：問40）、気軽に利用できる学習の場や、情報提供の充実が求められています。



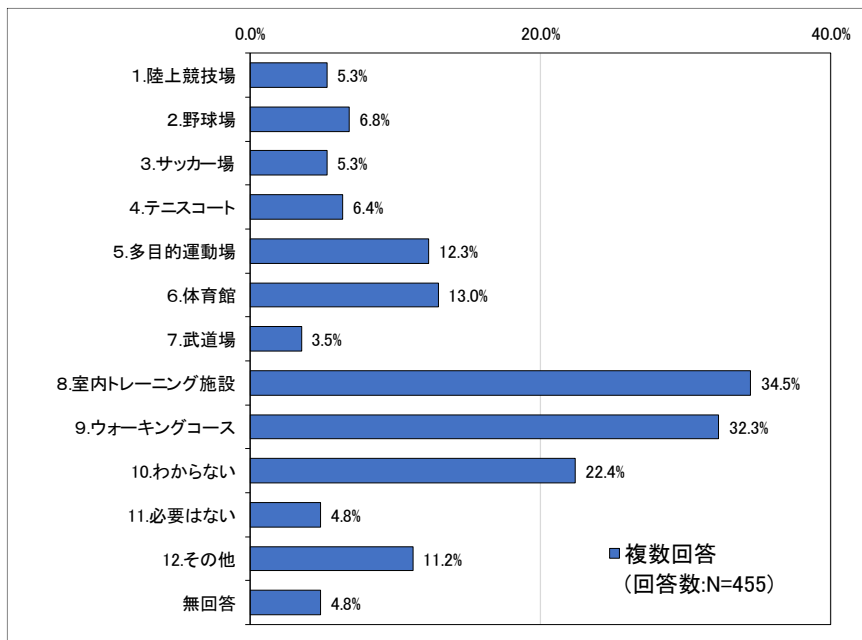
7. 文化・スポーツの振興について

市民一人一人のレベルや志向、環境に見合ったスポーツ施策が求められている。
歴史や文化遺産（文化財）の推進には、さらなる情報提供が必要である。

(1) 今後整備・充実すべき公共スポーツ施設

長岡京市が、今後、整備・充実すべき公共スポーツ施設では、「室内トレーニング施設」「ウォーキングコース」の割合が特に高くなっています。

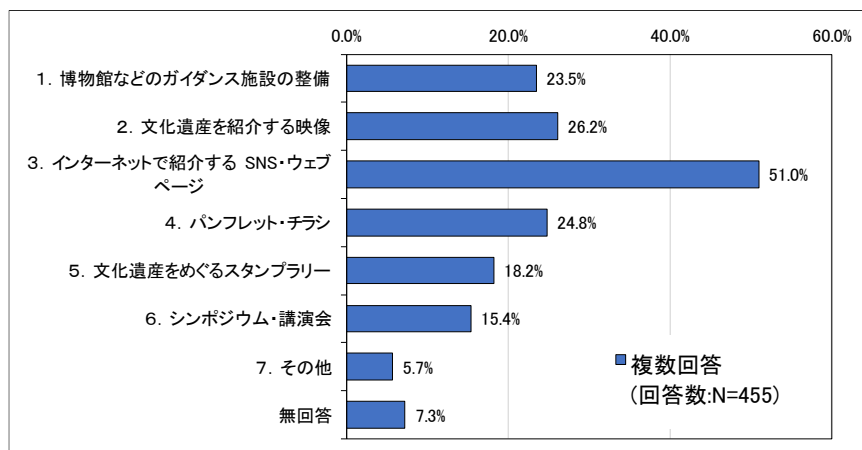
「室内トレーニング施設」については年代を問わず共通してニーズが高く、「ウォーキングコース」は60歳代以上で高くなっています。（市民：問23）



(2) 長岡京市の歴史や文化遺産（文化財）に関心を持つために必要なこと

長岡京市の歴史や文化遺産（文化財）に関心を持つために必要なことでは、「インターネットで紹介する SNS・ウェブページ」が半数以上で最も高くなっています。

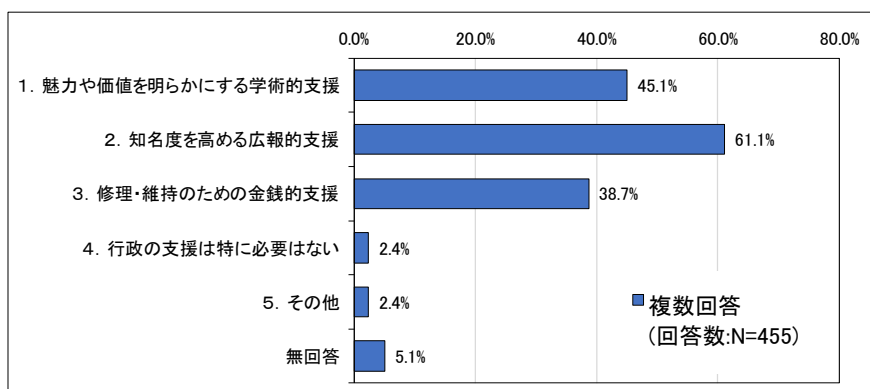
（市民：問27）



(3) 長岡京市の歴史や文化遺産（文化財）保護のために長岡京市のすべき支援

文化遺産（文化財）の保護のために長岡京市のすべき支援では、「知名度を高める広報的支援」の割合が最も高くなっています。

（市民：問28）



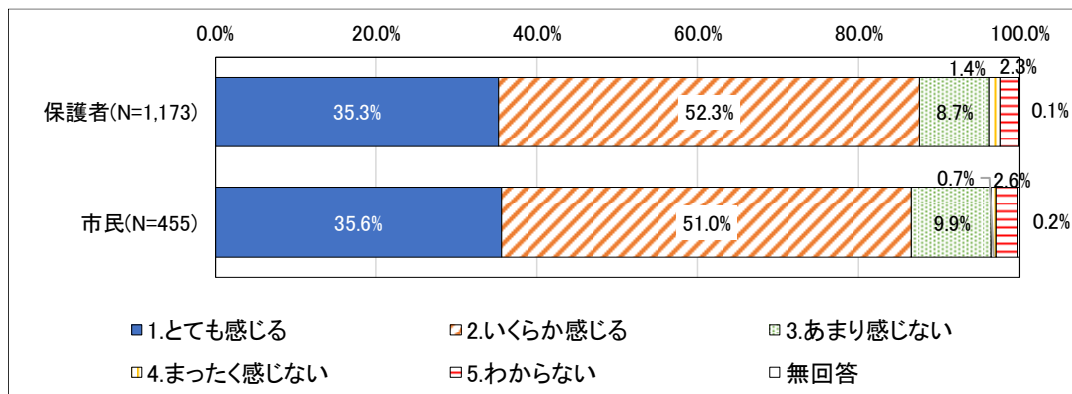
8. 長岡京市に対する愛着等について

大人の約8割が長岡京市への親しみや愛着を感じている。

小学生の約7割、中学生の約4割が大人になっても長岡京市に住み続けたいと思っている。

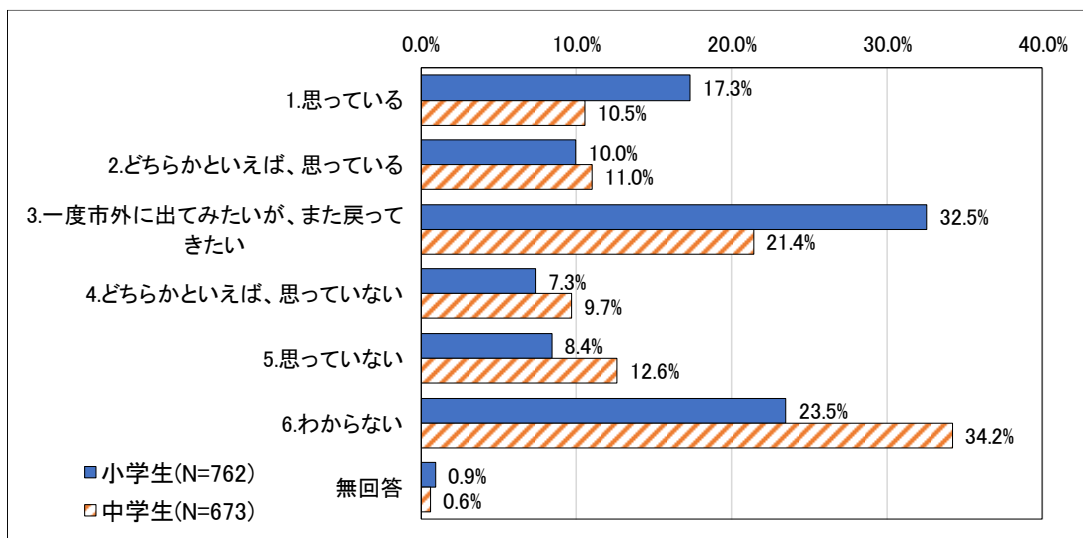
(1) 長岡京市に対する親しみや愛着 (大人)

保護者、市民ともに「1.とても感じる」が3割、「2.いづらか感じる」が5割でいずれも同程度の割合を占めています。(保護者：問6、市民：問8)



(2) 大人になっても住み続けたいか (子ども)

小学生の方が中学生に比べて、長岡京市に住み続けたいと思っている傾向がみられます。小学生では、「一度市外に出てみたいが、また戻ってきたい」の割合が32.5%と特に高くなっています。一方、中学生では、「わからない」の割合が34.2%で最も高くなっています。(小学生：問38、中学生：問37)



**長岡京市第2期教育振興基本計画策定のためのアンケート調査
集計結果 報告書（概要版）**



令和2年3月

編集・発行：長岡京市教育委員会 教育部
教育総務課 総務・施設整備担当

〒617-8501 京都府長岡京市開田一丁目1番1号
TEL：075-955-9532 FAX：075-951-8400